

とんぼりニュース

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764

発行人：上山 勝也

2018年
3月号
Vol.149

2018年 2月26日
発行

3・4・5月の興行ご案内

大阪松竹座

スーパー歌舞伎Ⅱ(セカンド)ワンピース

3億5000万部以上の累計発行部数を誇る国民的人気漫画「ONE PIECE」が歌舞伎になる!

2015年10・11月に新橋演舞場で四代目市川猿之助が挑んだ、前代未聞の壮大なプロジェクトは演劇界の枠を飛び越え、大きな話題を呼びました。



その後、大阪博多で新たな登場人物や新演出を加えて上演され、バージョンアップして、再び大阪松竹座に戻ってきます。

4月1日(日)〜25日(水) 昼の部11時〜 夜の部16時30分〜

原案原作：尾田栄一郎 劇作脚本演出：横内謙介

演出：市川猿之助 監督：市川猿之助(スーパーバイザー)

出演：市川猿之助 市川右團次 坂東巳之助 中村隼人 尾上右近 坂東新悟 市川寿猿 市川弘太郎 坂東竹三郎 市川笑三郎 市川猿弥 市川笑也 市川男女蔵 市川門之助 平岳大 下村青 嘉島典俊 浅野和之(役替わりあり)

料金：一等席18000円 二等席10000円 三等席6500円

3月5日、一般発売

OSK日本歌劇団レビュー春のおどり

道頓堀の春を告げる掛け声は「春のおどりはーよいやさー!」

OSK日本歌劇団のレビュー公演です。

OSKの貴公子とトランプスター高世麻央のさよなら公演。

愛の花束、胸に抱いて高世麻央感動のフイナール。お見逃しなく。

【第一部】構成演出振付：西川真乃助「桜がよみ夢草紙」

【第二部】演出振付：名倉加代子「One Step to Tomorrow」

5月19日(土)〜27日(日) 昼の部11時〜 午後の部15時〜

料金：一等席8500円 二等席4500円

3月17日(土)より一般発売

お問合せ：チケットホン松竹

0570-0001489



国立文楽劇場

4月文楽公演

吉田幸助改め五代目吉田玉助襲名披露

スケールの大きな立役として知られた三代目吉田玉助の名を孫の吉田幸助が襲名。53年ぶりの名跡の復活となる今公演。

横蔵と慈悲蔵の兄弟が、雪の竹藪で秘伝の軍法の「巻を争う」筒掘り」の場面で見られる『勳助住家の段』が吉田幸助改め、新玉助として襲名披露となります。

4月7日(土)〜30日(月)

第一部：11時開演

本朝廿四孝(ほんちようじゆじゆじゆ)

桔梗原の段 景勝下駄の段 勳助住家の段

義経千本桜(よしつねせんほんざくら)

道行初音旅

第二部：16時開演

彦山権現助助(ひこさんごんげんちかいかいすけだち)

須磨浦の段 瓢箪棚の段 杉坂墓所の段

毛谷村六助住家の段

料金：一等席6000円 二等席2400円

3月3日(土)電話インターネット予約開始

3月4日(日)窓口販売開始

お問合せ：国立劇場チケットセンター0570-070719600



はり重寄席

道頓堀はり重寄席第15回公演

笑福亭鶴二さんは大劇場を昼夜満席にするほどの人気者。桂よね吉さんは上方落語会二の男前。その上古典も素晴らしい! 桂三語さんは昨年何度も独演会を行う若手の注目株です。

3月11日(日) 12時開演(11時30分開場)

場所：道頓堀はり重三階広間

出演：笑福亭鶴二

桂よね吉 桂三語

料金：5000円

(御弁当、赤だし付)

お問合せ：はり重精肉店

06-6211-2980



道頓堀SUPER歌謡劇場

心に響く!!昭和の流行歌

3月20日(火)13時〜16時30分

(各公演で部歌謡内容が異なる場合があります)

出演：中村泰士(プロデュース)

坂井郎 水沢明美 ファンカヒ

ミスターシン(ものまねマジシャン)

料金：2500円

お問合せ：090-1158816590

(道頓堀のCD音歌謡劇場実行委員会)



2018年 3月の行事予定

8(木) B1E大阪視察

17時〜予定定 とんぼりパワート

9(金) ミナミ歌謡街環境浄化推進協議会連絡会議

15時〜南署

20時〜難波高島屋グリーン前広場

12(月) 中央商連常任理事会

14時〜大阪市立中央会館

20(火) とんぼりパワート賑わい創出連絡会

10時〜スポットカ

23(金) 四商店会合同ハトリール(予定)

17時〜戎橋交番前

28(水) 3月度定例役員会

10時30分〜事務局

店長会のLINEグループ、30名に!

商店会店舗間の情報交換、交流によるネットワークづくりなどの協力関係が生まれることを期待して、第4回「店長会」が2月22日(木)に開催され、26名の参加がありました。

会場は「千房道頓堀ビル店」、看板メニューのお好み焼きや焼きそばなどの昼食を食べながら、和やかに進められました。初めて参加される方々のあいさつがあった後は、鉄板を囲んでさまざまな意見や提案などを自由に話し合っていました。また、席のあちこちでLINEネットワークをつなげる光景が見られました。今回でLINEグループメンバーが30名に上り、これからはLINEを通じて親睦を深め、情報を交換し合いながら協力体制を築いていくことができるようになりました。

店長会は年間4回程度開催し、次回は5月の連休明けを予定しています。皆さんの積極的な参加をお願いします。



▲お好み焼きをつつきながら交流を囲みました。



▲店長会初参加の「いちびり庵」本坊住高さんがあいさつ。

「2025万博を大阪・関西へ」広報バナーを掲示しました。

2025年の国際博覧会について、パリが立候補を取り下げ、ロシアのエカテリンブルク、アゼルバイジャンのパクーと大阪の3都市に絞られ、誘致合戦が熾烈になってきました。その中で、3月はじめに博覧会国際事務局(BIE)の二行が、万博誘致の取り組みを視察するため来阪されます。

道頓堀商店会はいち早く万博誘致活動に名乗りを挙げていますが、このたび、商店街街路灯に2025万博大阪誘致の大型PRバナーを20枚掲示しました。「アライベ」様と「JTB」様にタイアップ広告として協賛していただいたもので、4月末まで掲示します。当商店会は今後もさまざまな万博誘致活動を行ってまいります。会員の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



▲2025大阪万博誘致のPRバナー。



▲全員で記念写真。



▲左から串カツ男爵、たこ焼き乃丞、ラーメンドラマ、ふぐ三郎のパフォーマンス。



▲会場はマスコミ記者、関係者、商店会会員など約100名で熱気ムンムン。



▲記者会見であいさつする上山会長。

時の人・インタビュー

プロレスを通して、みんなを笑顔にしたい!

プロレスラー、それも謎の漂うマスクマン。どんな方でしょうか? 豪快な笑い声と明るい人柄、プロレスに対する真剣な気持ち……。チャレンジを恐れない半生には、掲載できないエピソードもたくさん。今日もリングで戦うビリーケン・キッドさんにお話を伺いました。(聞き手:中田真弥子)



プロフィール

ビリーケン・キッド

1973年生まれ。東京都出身。高校卒業後、単身メキシコへ。メキシコスタイルのプロレス「ルチャリブレ」のジムに入門。1998年1月、大手プロレス団体AAA(トリプレア)に入門。帰国後の2002年大阪プロレスに入門。『ビリーケン・キッド』としてデビュー。現在は試合にボランティアにと精力的に活動中。

—東京に生まれて、メキシコ、九州と巡って来て、大阪。道頓堀という街はご存知ですか?

喋るとまた時々大阪の人じゃないんですねと言われます。もう16年もいるので、自分ではすっかり大阪の人になってるんですけど。

あのグリコの看板はまさしく東京からの「大阪のイメージ」。初めて見た時は「ついにここまで来たか」と思いました。

大阪プロレスを離れて、道頓堀に来る回数は減りましたが、お店の方はボスターの掲示など、いつも応援してくださっています。

—現在は老人ホームや保育園、障害者施設などの訪問活動も積極的に「行ってらっしゃる」ことですが、

2014年、大阪プロレスは所属する全レスラーとの契約を解除しました。

引退も考えたのですが、親友でもある「九州プロレス」の筑前りょう太が心配して「その前にうちの活動を見てみないか」と連絡くれ、そこで

知ったのが訪問活動です。ホーム入居者の方のチップを受けたり、お姫様抱っこをしたり。普段むっつりしている入居者の方が、施設のスタッフから「今日はよく笑っね」と言われたり、ご家族の方が笑顔の写真を見て驚かれることもあります。



▲みんなでレスラーポーズ

—これからの目標はありますか? プロレスラーは試合に呼ばれないとプロとは言えません。施設訪問でも肩書きが「元・プロレスラー」ではね。そのためにもまだまだプロレスラーでいたいと思います。

◆今後の試合予定

3月25日(日) 大阪・平野区民ホール 開場 17時 開始 17時30分 指定A席 6000円 指定B席 5000円 指定C席 4000円 一般自由席 3000円(当日は4000円)



▲個性豊かなレスラーが活躍。

—大阪プロレスは地元の団体として知名度が上がってきた時期ですね。

「スベって」っていいほう仮面「など、大阪ならではの物や個性など地方色を強く打ち出した初めての団体だったと思います。」「メディ要素のある楽しいプロレスで、家族連れがこんなに多い団体は他にはないですね。」

ただ、プロレスは厳しいものでもあるので、楽しい、面白いとかの面ばかりが取り上げられることには、少し歯痒い思いはありましたね。



▲大阪プロレスでの活躍

道頓堀人づくり情報

「なりたい自分、つくす自分」。留学生の夢をサポートする専門学校

人手不足が深刻な昨今。留学生は重要な働き手でもあるし、商店街と世界をつなぐ架け橋になってくれるかも知れません。エール学園で学ぶ留学生は地域貢献型のインターンシップとして地域の方々で活躍しています。そんな留学生の「現実」のお話をキャリア支援室室長の西村康司さんに伺いました。



▲浪速区難波中3丁目にあるエール学園

◆「学びたい働きたい」留学生のための専門学校 — 留学生に特化した学校づくりはどのように始まったのでしょうか?

この界限は、大阪予備校(2006年廃校)をはじめたくさんさんの予備校があり、エール学園もその一つでした。少子化の流れもあり、20年前から留学生向けの学科を開設しています。

在籍しているのは1350人ほど。8割は「応用日本語学科」の学生で、日本の大学や大学院への進学を希望しています。日本語を使って受験勉強をしなくてはなりませんから、これは元受験予備校の強みです。京都大学や大阪大学など難関大への進学実績も多くあります。

2割はビジネス系の学科で日本での就職や、日系企業への就職を希望しています。



▲ギネス記録を達成した「道頓堀盆おどり」にも参加。

—どの国の人が多いのでしょうか? 20年前は韓国が一番多くて、ここ何年かは中国が多かったのですが、今は中国とベトナムから同じくらい。台湾、インドネシア、タイ、ネパール、キルギス、ヨーロッパ勢は少ないですがルーマニアなど、東欧からも来ています。

—地域貢献型インターンシップはどのような活動があるのでしょうか?

イベント時の通訳や、外国語のアナウンス、サイトの翻訳を行ったり、戎橋商店街では外国人客への対応を調査しましたことも。

最近では外国人観光客を呼び込みたい自治体などから旅行体験をSNSで発信する依頼も様々です。観光ホテル業界を目指す留学生が頑張っています。



▲忍者ディナーショー体験(フラミンゴ・アルージャにて)。

—他にはどんな業種が人気ですか?

エンジニアはどれも人材不足で、母国でレベルの高い大学を出たり、一流企業を経て日本語を学びに来た人などは、インターンシップですぐに採用が決まることが多いです。

メーカー企業は韓国や中国の台頭も目覚しいですが、特に東南アジアでは日本人気というのは根強い。時間に正

確、礼儀正しい、などビジネスマナーもその因のようです。東南アジアの都市開発に関わっている日系企業も多いので、その影響もあるのではないのでしょうか。

◆留学生たちの生活と街

—道頓堀と留学生との関わりはどのくらいですか?

道頓堀と関わりが大きいのは留学生のアルバイトで、多くの留学生が働いています。育ててもらって、接客もできるようなり、後から入ってきた子の指導までするようになる。いい経験になったと話す留学生も多いです。

アルバイトを通じて飲食業に興味を持つ留学生も多いのですが、残念ながら就職が難しい。すると彼らは起業を考へるんです。

母国で店を出したり、日本のチェーンの海外展開などで活躍する人材が出てくるという面白いですね。

—日本の学生と違う点がありますか? 「文化」常識と言いますが、文化が違えば色々なことが違います。

毎年エリオンアリーナで体育祭を行うのですが、勝負に対するあの必死さは日本人にはないですね。玉入れに綿密な作戦を立てたり、肩車した人に入れさせたりとか、思わぬやり方を編み出します。トーナメント制の綱引きでは周りを取り囲んで驚くほど盛り上がりがあります。



▲エール学園 キャリア教育事業本部 キャリア支援室室長 西村康司さん。理事長の方針「物を大切に」。教室には懐かしい雰囲気の机が並ぶ。



▲人気のイベントであつという間に売り切れることも。



▲真剣勝負の体育祭。